

CASBEE-広島 2014年版			■使用評価マニュアル：CASBEE-広島 2014年版					
広島工業大学(仮称)生命学部棟新築工事			■評価ソフト：CASBEE-BD_NC_2014(v.2.0)					
スコアシート			欄に数値またはコメントを記入					
実施設計段階								
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体		
		評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質						3.1		
Q1 室内環境			0.40	-	-	2.8		
1 音環境		3.0	0.15	-	-	3.0		
1.1 騒音		3.0	0.40	-	-			
1.2 遮音		3.0	0.40	-	-			
1 開口部遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
2 界壁遮音性能		3.0	0.30	3.0	-			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		3.0	0.20	3.0	-			
1.3 吸音		3.0	0.20	3.0	-			
2 温熱環境		2.4	0.35	-	-	2.4		
2.1 室温制御		3.0	0.50	-	-			
1 室温		3.0	0.60	3.0	-			
2 外皮性能		3.0	0.40	3.0	-			
3 ゾーン別制御性		3.0	-	-	-			
2.2 湿度制御		3.0	0.20	3.0	-			
2.3 空調方式		1.0	0.30	3.0	-			
3 光・視環境			3.0	0.25	-		-	3.0
3.1 昼光利用		3.0	0.30	-	-			
1 昼光率		3.0	0.60	3.0	-			
2 方位別開口		-	-	3.0	-			
3 昼光利用設備		3.0	0.40	3.0	-			
3.2 グレア対策		3.0	0.30	-	-			
1 昼光制御		3.0	1.00	3.0	-			
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	-			
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	-			
4 空気質環境			3.1	0.25	-		-	3.1
4.1 発生源対策		自然換気有効開口面積 / 居室床面積=0.037 > 1/30のため	3.0	0.50	-		-	
1 化学汚染物質	3.0		1.00	3.0	-			
2 アスベスト対策	-		-	-	-			
4.2 換気	3.3		0.30	-	-			
1 換気量	3.0		0.33	3.0	-			
2 自然換気性能	4.0		0.33	3.0	-			
3 取り入れ外気への配慮	3.0		0.33	3.0	-			
4.3 運用管理	3.0		0.20	-	-			
1 CO ₂ の監視	1.0		0.50	-	-			
2 喫煙の制御	敷地内は全面禁煙であり、各所に喫煙エリアがあるため		5.0	0.50	-	-		
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-	3.4		
1 機能性		3.1	0.40	-	-	3.1		
1.1 機能性・使いやすさ	3Dパースでの検討を行ったため	3.0	0.40	-	-			
1 広さ・収納性		3.0	-	3.0	-			
2 高度情報通信設備対応		3.0	-	3.0	-			
3 バリアフリー計画		3.0	1.00	-	-			
1.2 心理性・快適性		3.5	0.30	-	-			
1 広さ感・景観		3.0	0.50	3.0	-			
2 リフレッシュスペース		3.0	-	-	-			
3 内装計画		4.0	0.50	-	-			
1.3 維持管理		3.0	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保	3.0	0.50	-	-				
3 衛生管理業務	-	-	-	-				
2 耐用性・信頼性		3.1	0.30	-	-	3.1		
2.1 耐震・免震	1.25倍としているため	3.8	0.50	-	-			
1 耐震性		4.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		2.4	0.30	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.20	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		2.0	0.20	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.10	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔		3.0	0.20	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔		1.0	0.20	-	-			

	2.4 信頼性			2.4	0.20	-	-	
	1	空調・換気設備	災害、停電時の想定をして、計画をしているため	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水・衛生設備		4.0	0.20	-	-	
	3	電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4	機械・配管支持方法		1.0	0.20	-	-	
	5	通信・情報設備		1.0	0.20	-	-	
3 対応性・更新性				4.2	0.30	-	-	4.2
	3.1 空間のゆとり			4.6	0.30	-	-	
	1	階高のゆとり	階高＝4200としているため	5.0	0.60	3.0	-	
	2	空間の形状・自由さ	壁長さ比率＝0.106	4.0	0.40	3.0	-	
	3.2 荷重のゆとり		3900N/㎡としているため	5.0	0.30	3.0	-	
	3.3 設備の更新性			3.4	0.40	-	-	
	1	空調配管の更新性	十分な広さのPSを確保しているため	3.0	0.20	-	-	
	2	給排水管の更新性		4.0	0.20	-	-	
	3	電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	
	4	通信配線の更新性	仕上げ材を痛めず、更新・修繕ができるため	5.0	0.10	-	-	
	5	設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	
	6	バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	3.4
1 生物環境の保全と創出				3.0	0.30	-	-	3.0
2 まちなみ・景観への配慮		キャンパスの既存建物に統一させた色彩を採用した		4.0	0.40	-	-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上			3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上			3.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性				—	-	-	-	3.3
LR1 エネルギー				—	0.40	-	-	3.6
1 建物外皮の熱負荷抑制		計算結果より		4.0	0.20	-	-	4.0
2 自然エネルギー利用				3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化		BEI 非住宅 0.87 住宅(専有部) —		4.0	0.50	-	-	4.0
	集合住宅以外の評価(3a.3b)		計算結果より	4.0	1.00	-	-	
	集合住宅の評価(3c)			-	-	-	-	
4 効率的運用				2.5	0.20	-	-	2.5
	集合住宅以外の評価			2.5	1.00	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	0.50	-	-	
	4.2	運用管理体制		2.0	0.50	-	-	
	集合住宅の評価			-	-	-	-	
	4.1	モニタリング		3.0	-	-	-	
	4.2	運用管理体制		3.0	-	-	-	
LR2 資源・マテリアル				—	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
	1.1 節水		節水吐水口タイプの水栓を採用した。擬音装置を設けているため。	4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60	-	-	
	1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.70	-	-	
	2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.30	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
	2.1 材料使用量の削減			3.0	0.11	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用			3.0	0.22	-	-	
	2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		—	3.0	0.22	-	-	
	2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用		床材(ビニル床シート)	3.0	0.22	-	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材			-	-	-	-	
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み		押し出しセメント板を採用。可動間仕切壁を使用しているため	5.0	0.22	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
	3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.30	-	-	
	3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.70	-	-	
	1	消火剤		-	-	-	-	
	2	発泡剤(断熱材等)		3.0	1.00	-	-	
	3	冷媒		-	-	-	-	
LR3 敷地外環境				—	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮		ライフサイクルCO2排出率の計算結果より		3.2	0.33	-	-	3.2
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6
	2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善			2.0	0.50	-	-	
	2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.7	0.25	-	-	
	1	雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
	2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.25	-	-	
	3	交通負荷抑制	自転車置場が、敷地周囲に設けてあるため	5.0	0.25	-	-	
	4	廃棄物処理負荷抑制	敷地内に、数箇所ごみ置き場が設けてあるため	4.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮				3.1	0.33	-	-	3.1
	3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40	-	-	
	1	騒音		3.0	1.00	-	-	
	2	振動		-	-	-	-	
	3	悪臭		-	-	-	-	
	3.2 風害、砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40	-	-	
	1	風害の抑制		3.0	0.70	-	-	
	2	砂塵の抑制		3.0	-	-	-	
	3	日照阻害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	3.3 光害の抑制			3.7	0.20	-	-	
	1	屋外照明及び屋内照明のうちに漏れる光への対策	広告物照明を行っていないため	4.0	0.70	-	-	
	2	屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30	-	-	